

市民版藪塚地区まちづくりプラン

やぶづか夢プラン

平成23年3月

藪塚地区まちづくり研究会

目 次

はじめに

- ・ 藪塚地区まちづくり研究会とは？
- ・ 活動の推進体制
- ・ 研究会の役員

1. まちづくりの方向性と目標の設定

- (1) まちづくりテーマの洗い出し（自由な意見の集約）
- (2) まちづくり目標の絞り込み（現状認識から課題抽出）
- (3) 藪塚地区の目指す方向性
- (4) 藪塚地区のまちづくり目標
- (5) 賑わい交流の実験プロジェクト「軽トラ市」

2. やぶづか夢プラン

- ・ やぶ塚温泉周辺エリア
- ・ 太田藪塚 IC 周辺エリア
- ・ 藪塚行政センター周辺エリア
- ・ 桐生新田線・山ノ神交差点周辺エリア
- ・ 藪塚駅（西側）周辺エリア
- ・ 農地（農業エリア）
- ・ 八王子丘陵エリア

3. やぶづか夢プランを活かすために

巻末：私たちが考えた藪塚地区の将来イメージ「やぶづか夢プラン」

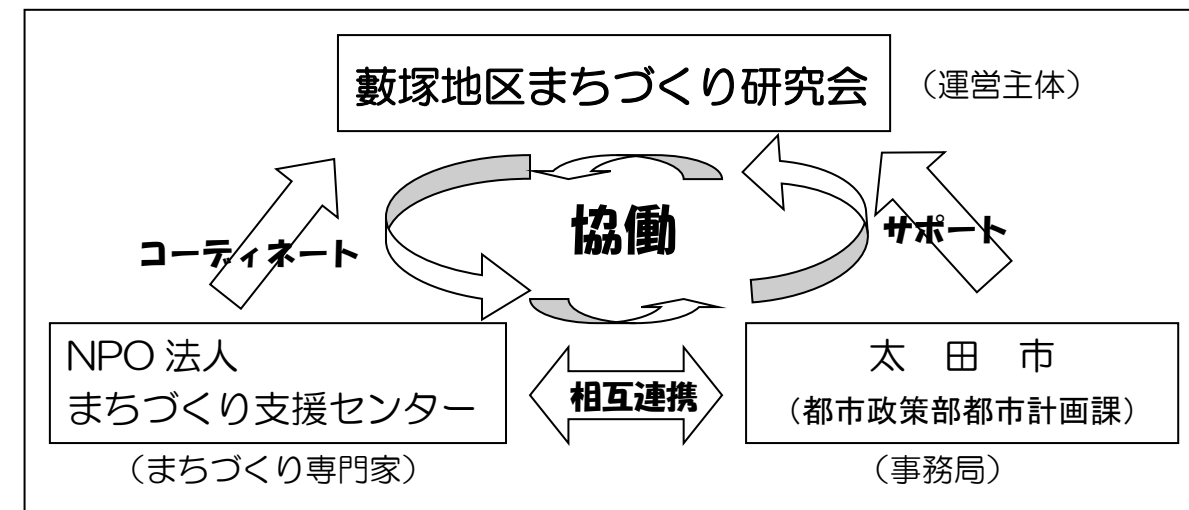
はじめに

○藪塚地区まちづくり研究会とは？

藪塚地区の住民の皆さんが、地区の魅力と課題について自ら話し合い、将来にわたり安全で安心して生活できるまちづくりを実現するための活動を行うこと目的として、平成21年4月に設立されました。

○活動の推進体制

この活動は、藪塚地区まちづくり研究会と行政およびNPOとの協働のまちづくり活動です。具体的な活動推進体制は、藪塚地区まちづくり研究会が運営主体となり、NPO法人まちづくり支援センターが専門家としてコーディネートし、太田市都市計画課が事務局としてサポートしました。なお、この活動は、群馬県まちうち再生総合支援事業の取り組みとして推進しました。



○研究会の役員および会員

会長:伏島正己、副会長:清水勝彦、下山厚子(21年度)、清水由紀江(22年度)
会計:吉田康幸、監査:小暮利明、福島勝次
会員:小田根勇、小久保忠雄、清水忠男、福田義雄、町田早苗、松橋美江

1. まちづくりの方向性と目標の設定

研究会の活動は、まちづくりワークショップを実施しながら進めました。

ワークショップでは、協働のまちづくりの考え方・進め方やまちづくりの先進事例を学習しながら、藪塚地区の現状と課題を理解し、地域の魅力を再発見し、藪塚地区の可能性について理解を深める中で、具体的なまちづくり活動・行動を話し合いました。その成果を集約し、まちづくりのプロセスに沿って取りまとめながら、

「やぶづか夢プラン」を作成しました。

(1) まちづくりテーマの洗い出し (自由な意見の集約)

【ステップ1: まちづくりの問題意識・危機感】

- ・ 農業と居住地との混在、住み分け
- ・ やぶ塚温泉の利用客が減ってきた
- ・ 誰も困っていない、そこそこの平均的で危機感に乏しい
- ・ 魅力あるものがない、地元の人が地域の良い所を認識していない
- ・ 地域産業経営者の意識改革
- ・ 埃まみれになる畑仕事、農業の行き先に対する不安、地場産業の後継者不足

【ステップ2: まちづくりの方向性・将来イメージ】

- ・ やぶ塚温泉の日帰り入浴を売り出す
- ・ 藪塚全体での地場産業で生かした魅力的な商品作り⇒ブランド化
- ・ 体験型農業、企業ビジネスとしての農業 (観光農園、直売所、体験農場)
- ・ 販売する場所ともの。魅力的な商品、推進する人
- ・ 休耕田、耕作放棄地を活かす
- ・ 子供からお年寄りまで参加できるイベントを、お年寄りが元気なまち

【ステップ3: まちづくりの素材になりそうな、藪塚地区の「資源」】

- ・ 田園地帯と温泉とその風景
- ・ インターチェンジがある。特急が停車する藪塚駅がある
- ・ 高齢者の農業技術を継承しビジネスを⇒ (例) スイカの盆栽
- ・ すいか、市場対応から地域対応へ ブランド力との関係をどうするか
- ・ 温泉街にある史跡等、石切り場 中高年ハイキングマップ
- ・ 温泉の穴場要素、好立地 (周辺の桐生・足利市からもアクセス良好。意外と東京から近い)

【ステップ4: 取り上げてみたい、まちづくりのテーマ】

- ・ 地域ブランドの創出、流用、転用

(2) まちづくり目標の絞り込み (現状認識から課題抽出)

- ◎地域の活性化を図ろうとして外部から観光客などが集まってくると、地元の生活者は車の渋滞や騒音などで、不便もきたす。そういう意味では、今の静かな生活も維持したい。
- ◎定住人口を考えた場合、静かな住環境の維持は大切である。しかし、交流人口はなくなってしまうと、地元にお金が落ちず、地域は疲弊してしまう。長野県白馬村は、冬のスキーシーズンには周辺の渋滞やゴミなどの問題が生じるが、反面、その3ヶ月で年間の収入を賄っている。だから、その期間は住民も我慢しようという意識になっている。要は、うまく折り合いをつけるということが大切で、藪塚地区でも、全域に人を呼び込む必要はない。

(3) 藪塚地区の目指す方向性

【やぶ塚温泉街周辺の地域】 交流人口を増やす（人を呼び込む）

温泉、温泉神社、石切場、古墳、三島神社（かかし）、なつめの里、三日月村、藪塚IC、藪塚駅（特急停車）

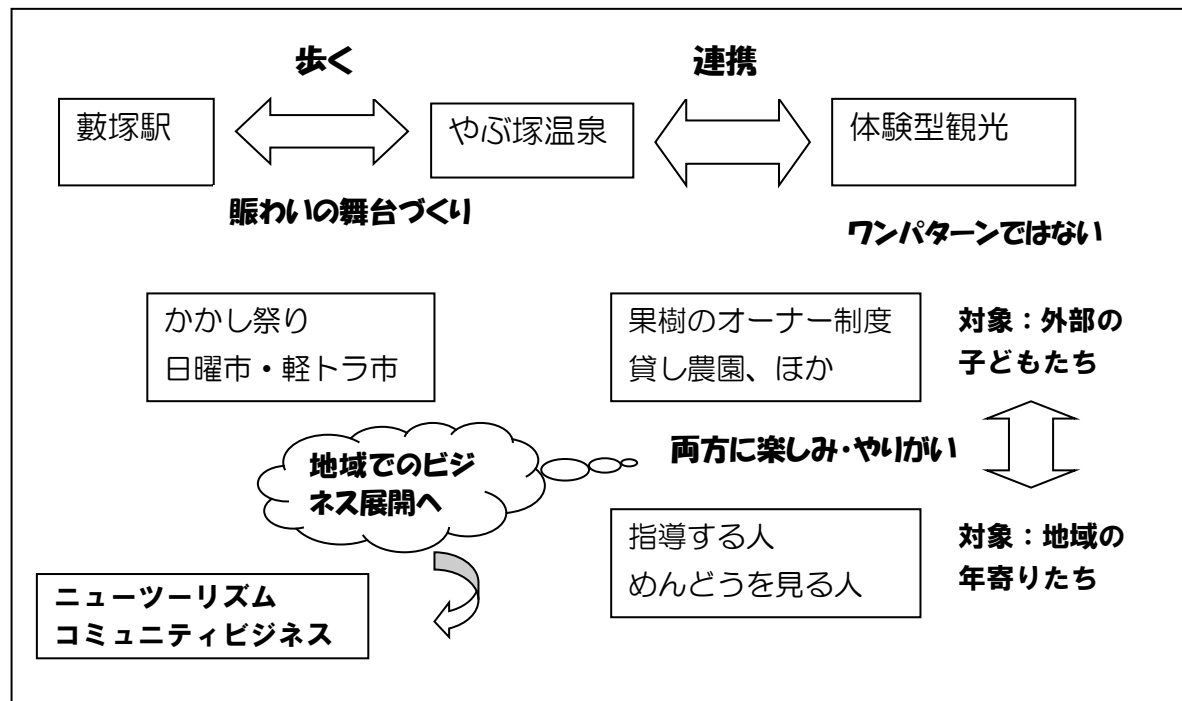
※歩ける距離を舞台に、更なる魅力づくり（加工）。季節感も活かす。

キーワード： 見る、遊ぶ、食べる、買う、学ぶ、ふれあう、体験、癒す、健康

【それ以外の地域】 定住型の地域を目指す（静かで住みやすい住環境）

(4) 藪塚地区のまちづくり目標

- ① 交流人口を増やす（温泉街を中心として）
- ② 定住型の地域を目指す（全域）



(5) 賑わい交流の実験プロジェクト「軽トラ市」

元気なまち！住みよいまちを目指して活動しています！！

藪塚地区まちづくり研究会 地域活性化イベント

5/1 (土)

午前 10時～ 午後 4時 (雨天中止)

よってけ よってけ！

やぶつか 軽トラ市

会場：太田藪塚インター おりてすぐ！！
(「大久保東」交差点の空き地)

藪塚よいところ、何度もおいで！

【催しもの】

- 藪塚地域の地場産品の販売
〔農産物・食品・手工芸品・古着・リサイクル品〕
協力：東毛酪農協同組合、武井漬物製造所、福田養蜂場、ありさんち、柳屋ほか多数
- 動物ふれあいコーナー（ポニーの引き馬など）
協力：NPO法人プレーメンの会(おっけろ)
- アートバルーンの無料配布（数量限定）
- フルーツポンチの試食提供（数量限定） 協力：大久保水土里の会
- 大型トラクターの展示（記念撮影どうぞ！）
- まちづくり研究会の活動紹介・展示

主催：藪塚地区まちづくり研究会 協力：太田市(都市計画課) 0276-47-1111(内線2813)



2. やぶづか夢プラン

「やぶづか夢プラン」で示す将来構想にあたっての考え方は以下のとおりです。

- ・ 各施設は集中した方がよい！（コンパクトシティ）
- ・ 農業の在り方は今後10年で変貌していく（自由化の流れ）⇒企業・大規模農業者と個人・高齢・小規模農業者の棲み分けと共存を模索すべき！
- ・ 車窓から見える場所・施設に宣伝・波及効果がある！
- ・ 夢は大きい方がよい！

○やぶ塚温泉周辺エリア

全体目標	三島神社公園と一体的に公園化する ～田んぼと山との調和、賑わいと集客～
個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 斜面地の休耕田を活用した、モミジとなつめの里づくりを目指す ② 三島神社公園周辺に野球場とサッカー場を備えたスポーツ公園づくりを目指す ③ 子どもの環境学習をねらいとした親水公園づくりを目指す ④ やぶ塚温泉街周辺に遊べる・学べる・体験できる集客施設を集積させる ⑤ 藪塚駅から温泉街までのアクセス道路に沿った賑わい空間づくりを目指す ⑥ かかし祭りと同様に、三島神社公園を使った集客イベントづくりを進める(例:軽トラ市) ⑦ 大きな大きな夢:八王子丘陵内にラスベガスのような一大歓楽街を作り、カジノを設けたい
プランのねらい	できるだけ集中させることによる賑わいづくりを目指す
	

○太田藪塚 IC 周辺エリア

全体目標	藪塚地区の新しい玄関口としての特性を活かし、賑わいと交流を高める
個別目標	<p>【IC から桐生伊勢崎線までの沿道エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業に関する沿道型商業施設(観光農園、道の駅、農産物直売所など)が集積するエリア開発を目指す ② 農業を核にした体験型テーマパーク的施設の開発を目指す ③ 北関道を利用した連携を図り(海から山まで)、「野菜+魚+流通」が集積するエリア開発を目指す ④ IC 北側隣接地区は、既存の工業や流通機能が集積するエリア開発を目指す ⑤ 西部ふるさと公園をゲートボールとテニスの専用グラウンド化し、三島神社公園周辺のスポーツ公園とのすみ分けを進める ⑥ 沿道の商業利用を進めるために、副道の廃止が望ましい <p>【桐生伊勢崎線の沿道エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 既存の沿道型商業を、より集積させるようなエリア開発を目指す <p>【IC 南西部の隣接エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① グランドゴルフ場などの運動施設を含めた4ha程度の地区公園を整備し、イベントにも利用できるような整備を目指す <p>【IC 南部の地区境界エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新田北部工業団地と隣接していることから、連動して工業を集積させるエリア開発を目指す
プランのねらい	インター周辺の特性を活かし、沿道集積を図ることで、利便性と賑わい・交流を高める空間づくりを目指す
	

○藪塚行政センター周辺エリア

全体目標	公共施設と住宅が多く集積していることから、生活拠点としての魅力を高める
個別目標	① 中央運動公園周辺には、既に住宅が多く立地していることから、良好な住環境づくりを目指す ② 調節池を活用し、住宅地に憩いと潤いをもたらす水辺環境を創出する ③ 日常生活にかかわる公的機能を集積させるようなエリア開発を目指す
プランのねらい	藪塚地区の生活拠点化を推進し、利便性と快適性の高い良好な住環境づくりを目指す



注)「やぶづか夢プラン」将来イメージ図は巻末に掲載

○桐生新田線・山ノ神交差点周辺エリア

全体目標	道路交通の利便性を活かし、住宅と商業・工業が調和して混在する生活交流型空間の魅力を高める
個別目標	① 山ノ神交差点西側、高速道路の側道沿線は、流通系工場と住宅が調和するような準工業的なエリア開発を目指す ② 山ノ神交差点南側、桐生新田線の西側沿線は、市野倉工業団地と隣接していることから、連動して工業を集積させるエリア開発を目指す
プランのねらい	道路交通の要衝を活用し、利便性の高い空間づくりを目指す

○藪塚駅（西側）周辺エリア

全体目標	鉄道駅前の利便性を活かし、商業と住宅が調和して混在する生活交流型空間の魅力を高める
個別目標	① 隣接する藪塚行政センター周辺エリアと連携して、生活拠点としてのエリア開発を目指す ② 藪塚駅前は、藪塚地区の顔としての機能を再発見し、やぶ塚温泉周辺エリアとの連携による再生を目指す ③ 東京直結の特急停車駅としての優位性を活かした、新たなエリア開発を目指す
プランのねらい	新しい時代の鉄道の役割と地域活動との結節点機能を強化し、地域拠点化を目指す

○農地（農業エリア）

全体目標	藪塚地区の立地条件を活かし、農業技術の継承と発展を図りつつ、新たな価値と魅力を高める
個別目標	農業の新たな魅力を追及し、藪塚産ブランドの価値の向上と、人材の育成を進める
プランのねらい	現在の産業構造の中で、農業後継者不足を改善するための、藪塚モデルを目指す

○八王子丘陵エリア

全体目標	自然と共生するハイキングコースの魅力度を高める
個別目標	太田市が掲げる八王子丘陵 散策路構想（北部運動公園～藪塚山）を活かし、四季折々の身近な自然と藪塚の個性に触れ合うおもてなし環境づくりを進める
プランのねらい	太田市で数少ない丘陵地の特徴を活かし、健康と癒しの空間づくりを目指す

3. やぶづか夢プランを活かすために

私たちが考えた「やぶづか夢プラン」は、あくまで「夢」であり、まちづくりの方向性をかたちにしたに過ぎません。とはいえ、これをまとめあげたことは、太田市藪塚地区の将来像を考えると前進への大きな一歩と考えております。これから「軽トラ市」のような具体的なまちづくり活動を進めるときに、このプランはいわば羅針盤であり、この「夢」を実現することが藪塚地区の活力につながることを期待します。

さて、この夢プランを活かす、実現するために、為国孝敏コーディネータが以下のような指摘をされました。

地域の皆さんで取り組めるアイデア

～藪塚地区の魅力づくり～

- 斜面地の休耕田を活用した、モミジとなつめの里づくり⇒潤いと感動体験
- 子どもの環境学習をねらいとした親水公園づくり⇒子どもと交流しながら、一緒に作る体験学習
- 八王子丘陵のハイキングコースづくり⇒四季折々の樹木等の維持、散策路の整備、ビュースポットでの休憩ベンチ等、手づくり感のあるおもてなし環境づくり
- 田園風景を際立たせる、植樹・植栽などの飾りつけづくり⇒戦略的な花と緑の維持・管理



地域の皆さんの共同作業が、地域の魅力UPにつながる

地域の皆さんで取り組めるアイデア

～藪塚地区の賑わい・交流づくり～

- 三島神社公園を使って「軽トラ市」を定期的で開催
⇒①話題性が実証済み、②藪塚の資源が生かせる、③誰もが参加できる
- 藪塚駅から温泉街までの道路沿いを、例えば「かかし」で埋め尽くす⇒①かかし祭りを盛り上げる、②話題性がある、③「何だろう？」と思わせる
- 藪塚ICに近接して、地域の皆さんによる農産物直売所（できれば常設）を作る⇒①藪塚産の農業ブランド商品を産直、②強いもので売り出す



地域の皆さんの共同作業が、人を惹きつけることにつながる

行政と協働で取り組めるアイデア

～藪塚地区の良好な住環境づくり～

- 安全、安心な住環境づくり
⇒①歩行者空間、防犯灯などの空間づくり、
②公共施設の集積による生活利便性の向上、
③市民参加の促進
- 憩いと潤いのある住環境づくり
⇒①水と緑の適正な配置、②公園などのゆとり空間づくり、
③市民参加の促進



地域の皆さんの主体性が、快適な住環境につながる

やぶづか夢プランを活かすためには

- 「こういうふうになったらいいなあ」といった目標を共有する
- 活動のターゲットを絞り込む⇒やりたい人が中心になって、できることから始める
- 成果の目標を決める⇒だらだらとしない
- 組織は緩やかで良い⇒活動を主体にした組織に変える。参加している人が楽しい活動を目指す
- テーマによって行政を巻き込む⇒行政との距離感に注意。任せたり陳情になったりしないで主体的に進める。「自分たちのことである」当事者意識を持つ



地域の皆さんが、まず行動することで夢に近づきます

今回取りまとめた成果は、藪塚地区の一部住民で組織された「藪塚地区まちづくり研究会」で学習と実践を重ねた成果です。

私たちの「やぶづか夢プラン」を活かすためには、藪塚地区の多くの皆さんにご理解いただき、共に行動することはもちろんですが、市民と行政とがお互いを理解し、信頼関係を構築して協働のまちづくりを推進することが何より大切なことだと考えます。

このプランが、太田市全体の中で、藪塚地区の個性が発揮されるとともに、将来にわたって藪塚地区の活性化につながることを期待します。

藪塚地区まちづくり研究会

私たちが考えた藪塚地区の将来イメージ「やぶづか夢プラン」

- 調節池
- 商業施設
- 工業施設
- 物流・倉庫施設
- 大規模農地

将来構想にあたっての考え方

- ◎各施設は集中したほうが良い！（コンパクトシティ）
- ◎農業の在り方は今後10年で変貌していく（自由化の流れ）
⇒企業・大規模農業者と個人・高齢・小規模農業者の棲み分けと共存を模索すべき！！
- ◎車窓から見える場所・施設に宣伝・波及効果がある！
- ◎夢は大きいほうが良い！！

太田藪塚IC周辺エリア

【全体目標】 藪塚地区の新しい玄関口としての特性を活かし、賑わいと交流を高める。

- 【個別目標】**
- 【ICから桐生伊勢崎線までの沿道エリア】**
- ①農業に関する沿道型商業施設（観光農園、道の駅、農産物直売所など）が集積するエリア開発を目指す。
 - ②農業を核にした体験型テーマパークの施設の開発を目指す。
 - ③北関東道利用した連携を図り（海から山まで）、「野菜＋魚＋流通」が集積するエリア開発を目指す。
 - ④IC北側隣接地区は、既存の工業や流通機能が集積するエリア開発を目指す。
 - ⑤西部ふるさと公園をゲートボールとテニスの専用グラウンド化し、三島神社公園周辺のスポーツ公園とのすみ分けを進める。
 - ⑥沿道の商業利用を進めるために、副道の廃止が望ましい。

【桐生伊勢崎線の沿道エリア】

- ①既存の沿道型商業を、より集積させるようなエリア開発を目指す。

【IC南西部の隣接エリア】

- ①グランドゴルフ場などの運動施設を含めた4ha程度の地区公園を整備し、イベントにも利用できるような整備を目指す。

【IC南部の地区境界エリア】

- ①新田北部工業団地と隣接していることから、連動して工業を集積させるエリア開発を目指す。



【プランのねらい】 インター周辺の特性を活かし、沿道集積を図ることで、利便性と賑わい・交流を高める空間作りを目指す。

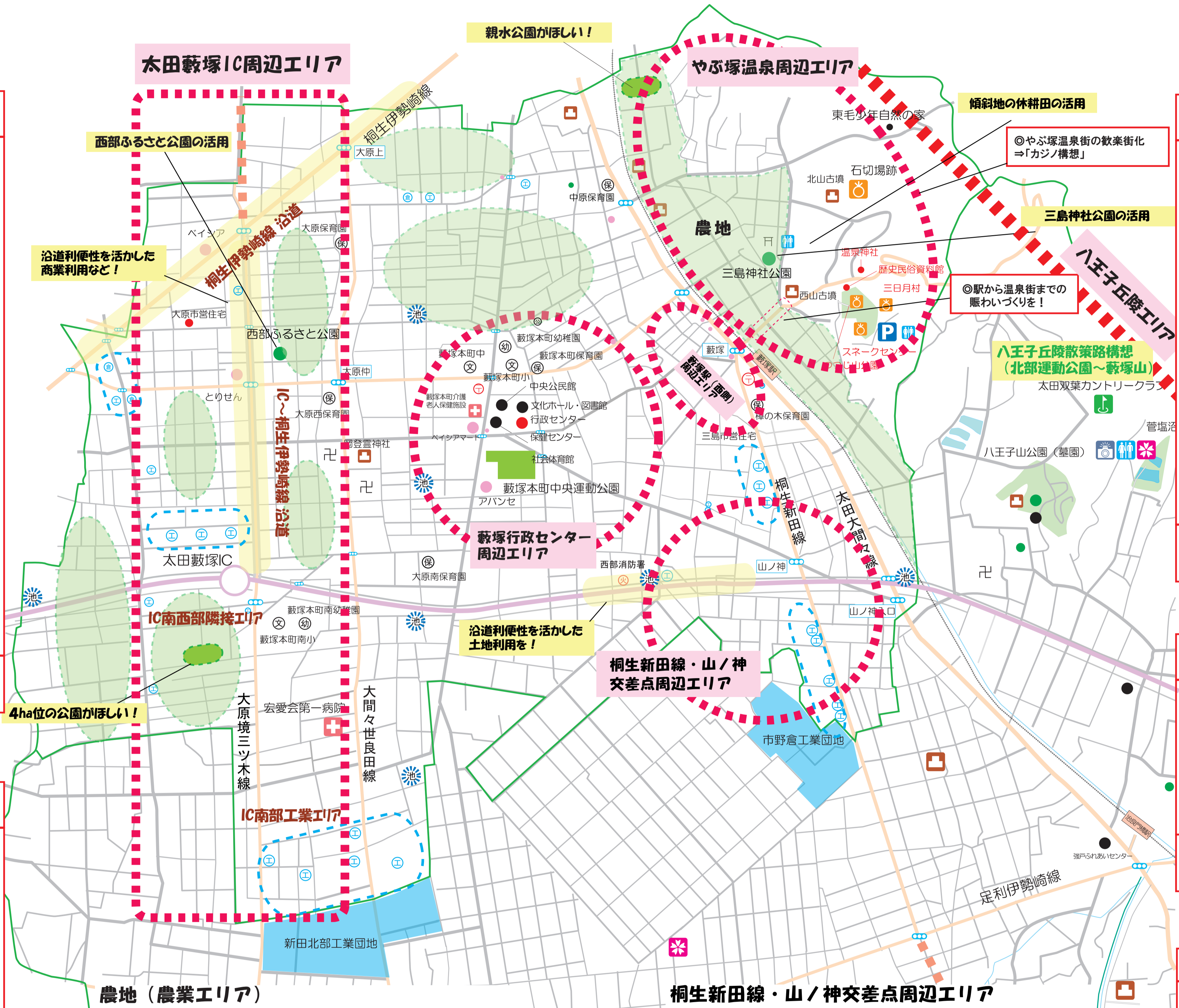
藪塚行政センター周辺エリア

【全体目標】 公共施設と住宅が多く集積していることから、生活拠点としての魅力を高める。

- 【個別目標】**
- ①中央運動公園周辺には、既に住宅が多く立地していることから、良好な住環境作りを目指す。
 - ②調節池を活用し、住宅地に憩いと潤いをもたらす水辺環境を創出する。
 - ③日常生活にかかわる公的機能を集積させるようなエリア開発を目指す。



【プランのねらい】 藪塚地区の生活拠点化を推進し、利便性と快適性の高い良好な住環境づくりを目指す。



農地（農業エリア）

【全体目標】 藪塚地区の立地条件を活かし、農業技術の継承と発展を図りつつ、新たな価値と魅力を高める。

農業の新たな魅力を追及し、藪塚産ブランドの価値の向上と、人材の育成を進める。

【プランのねらい】 現在の産業構造の中で、農業後継者不足を改善するための、「藪塚モデル」を目指す。

桐生新田線・山ノ神交差点周辺エリア

【全体目標】 道路交通の利便性を活かし住宅と商業・工業が調和して混在する生活交流型空間の魅力を高める。

- ①山ノ神交差点西側、高速道路の側道沿線は、流通系工場と住宅が調和するような準工業的なエリア開発を目指す。
- ②山ノ神交差点南側、桐生新田線の西側沿線は、市野倉工業団地と隣接していることから、連動して工業を集積させるエリア開発を目指す。

【プランのねらい】 道路交通の要衝を活用し、利便性の高い空間づくりを目指す。

やぶ塚温泉周辺エリア

【全体目標】 三島神社公園と一体的に公園化する。～田園と山との調和、賑わいと集客～

- 【個別目標】**
- ①斜面地の休耕地を活用した、モミジとなつめの里づくりを目指す。
 - ②三島神社公園周辺に野球場とサッカー場を備えたスポーツ公園づくりを目指す。
 - ③子どもの環境学習をねらいとした親水公園づくりを目指す。
 - ④やぶ塚温泉街周辺に遊べる・学べる・体験できる集客施設を集積させる。
 - ⑤藪塚駅から温泉街までのアクセス道路に沿った、賑わいの空間づくりを目指す。
 - ⑥かかし祭りと同様に、三島神社公園を使った集客イベントづくりを進める。（例：軽トラ市）
 - ⑦大きな大きな夢：八王子丘陵内にラスベガスのような一大歓楽街を作りカジノを設けたい。



【プランのねらい】 できるだけ集中させることにより賑わいづくりを目指す。

藪塚駅（西側）周辺エリア

【全体目標】 鉄道駅前の利便性を活かし、商業と住宅が調和して混在する生活交流型空間の魅力を高める。

- ①隣接する藪塚行政センター周辺エリアと連携して、生活拠点としてのエリア開発を目指す。
- ②藪塚駅前は、藪塚地区の顔としての機能を再発見し、やぶ塚温泉周辺エリアとの連携による再生を目指す。
- ③東京直結の特急停車駅としての優位性を活かした、新たなエリア開発を目指す。



【プランのねらい】 新しい時代の鉄道の役割と地域活動との結節点機能を強化し、地域拠点化を目指す。

八王子丘陵エリア

【全体目標】 自然と共生するハイキングコースの魅力度を高める。

- ①太田市が掲げる八王子丘陵 散策路構想（北部運動公園～藪塚山）を活かし、四季折々の身近な自然と藪塚の個性に触れ合うおもてなし環境づくりを進める。



【プランのねらい】 太田市で数少ない丘陵地の特徴を活かし、健康と癒しの空間づくりを目指す。